

業況は改善するも力強さに欠け、コロナの影響続く

～第119回熊本県内企業業況判断調査－2021年6月調査～

【調査結果の概要】

- 業況DIは前回調査（2021年1～3月調査）から10ポイント（以下、p）改善の▲22だった。先行きは8p悪化の▲30の見通し。
- 売上DIは17p改善の▲19、利益DIは16p改善の▲23だった。
- 仕入価格DIは11p上昇の+20、販売価格DIは8p上昇の▲2だった。
- 設備DIは4p低下の▲14、労働力DIは5p上昇の▲28だった。
- 在庫DIは8p低下の▲2、資金繰りDIは2p改善の+8だった。

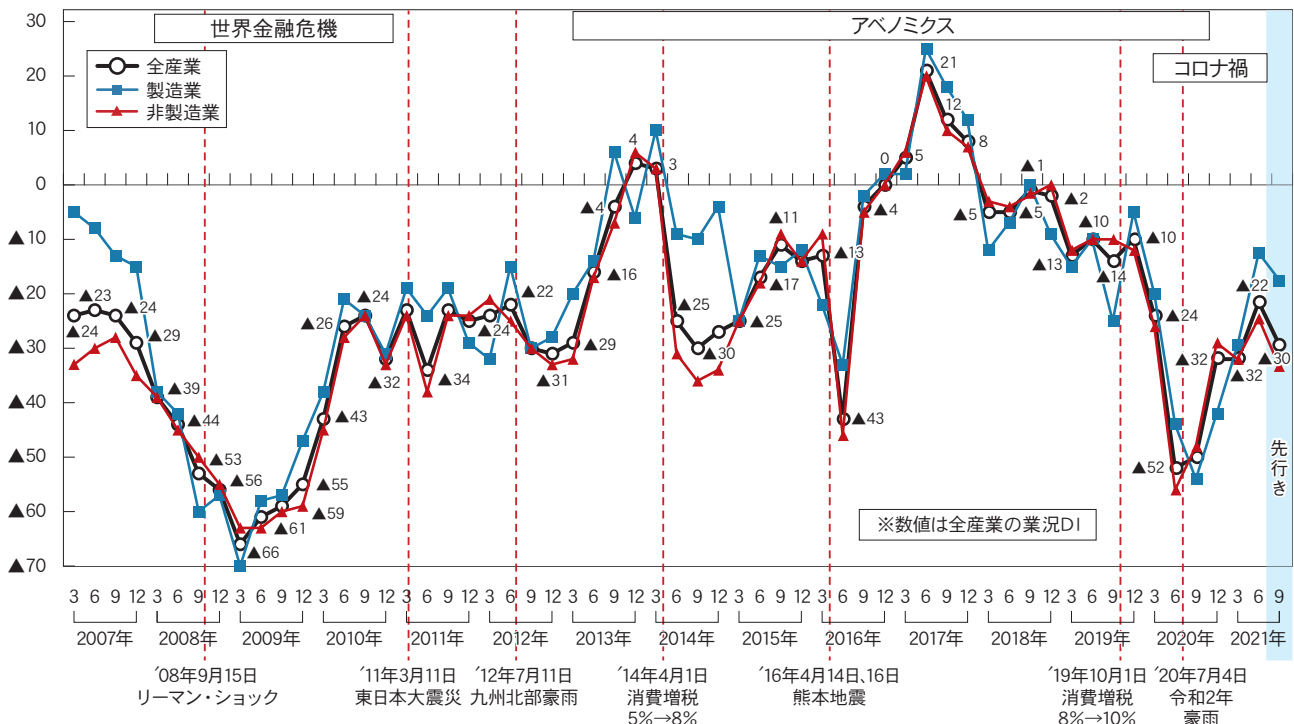
《本調査の概要》

1. 対象企業	県内主要企業 744社
2. 調査時点	2021年4月23日～5月21日
3. 対象期間	2021年4～6月期実績 2021年7～9月期見通し
4. 回答状況	回答企業 238社 回答率 32.0%

《用語》

今 回=2021年4～6月期
前 回=2021年1～3月期
先行き=2021年7～9月期
DI=「プラス」回答の割合－「マイナス」回答の割合 業況DI=「良い」－「悪い」 売上・利益DI=「増加」－「減少」 仕入価格・販売価格DI=「上昇」－「下落」 設備・労働力・在庫DI=「過剰」－「不足」 資金繰りDI=「楽である」－「楽ではない」

図表1 全産業 業況DI長期推移(2007年3月調査～)



※詳細な全業種の業況DIの長期推移(2007年3月調査～)は資料編(14ページ～)に掲載

1 業況判断の結果

(1) 業況判断

全産業DIは10p改善の▲22、製造業では17p改善の▲13、非製造業で8p改善の▲25だった。

先行きは全産業が8p悪化の▲30、製造業で5p悪化の▲18、非製造業で9p悪化の▲34の見通し（図表1、2）。

幅広い業種で業況の改善がみられるが力強さに欠け、コロナ第四波が到来し県内にまん延防止措置が発令されるなどもあり、長引くコロナ禍による業況への影響は続き、先行きも不安感が拭えない。

①依然強い、コロナ禍の個人消費に関連する業種への影響

改善がみられるも、コロナ禍による外出自粛や時短営業が引き続き個人消費を抑制し、殆どの業種がマイナス水準で推移している。旅客運送を多く含む運輸業は4p改善の▲67、個人サービス業で5p改善の▲63、小売業で10p悪化の▲19と、個人消費に関連する業種が低迷（図表2）。また、食料品製造業で12p改善したものの▲53と、依然低迷している。

【自由回答より（抜粋）】

- ・3月～6月宿泊のみコロナ前同月の40%前後、宴会・婚礼はほぼ0件。（ホテル業）

②製造業の一部や卸売業で改善が進む

製造業の一部、海外向けや半導体などの生産財関連で改善が進み、食料品以外の製造業で18p改善の+2となった。また、生産財卸売業で39p改善の▲14となった。消費財卸売業は39p改善の▲8と、主にスーパーなど個人向け食品の販売増を受けて改善が進んだとみられる。

【自由回答より（抜粋）】

- ・中国中心に設備投資が盛り上がり、顧客の在庫切れリスク回避のため受注増となっている。（半導体デバイス製造業）

③業種が同じでも対象顧客や事業内容により業況の差が大きい

業種が同じでも、対象顧客や事業内容の違いにより業況に大きな差が生じている。特徴的な傾向を挙げると、消費財卸売業では主にスーパー向けとみられる青果物卸で「良い」、業務用（飲食店用）卸で「悪い」、小売業では自動車及び関連製品の販売業で「良い」、衣料品販売業で「悪い」、個人サービス業では自動車学校で「良い」、旅館ホテル業・結婚式場・旅行業や医療機関で「悪い」との回答が大半を占めている。

図表2 全産業 業況DIの最近の推移

	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回 調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回 調査比
	全産業	▲32	▲22	↗	▲30
製造業	▲30	▲13	↗	▲18	↘
食料品製造業	▲65	▲53	↗	▲59	↘
食料品以外の製造業	▲16	2	↗	▲2	↘
非製造業	▲33	▲25	↗	▲34	↘
建設業	▲13	▲6	↗	▲19	↘
生産財卸売業	▲53	▲14	↗	▲33	↘
消費財卸売業	▲47	▲8	↗	▲38	↘
小売業	▲9	▲19	↘	▲29	↘
運輸業	▲71	▲67	↗	▲67	→
事業所サービス業	▲24	▲21	↗	▲26	↘
個人サービス業	▲68	▲63	↗	▲58	↗

※前回比、今回比

↗	改善（上昇）
→	横ばい
↘	悪化（低下）

(2) 規模別・地域別の業況判断

① 規模別

従業員数による規模別で見ると、改善幅が大きいのは「9人以下」で29p改善の▲18、「30～49人」で19p改善の▲13、「300人以上」で9p改善の▲14となっている。全体的には概ね改善しているものの、全ての規模でマイナス水準での推移に留まり、低い水準にある。

なお、先行きは全ての規模で悪化する見通し（図表3）。

② 地域別

全ての地域で改善しているが、水準は▲18～▲23の低いレンジとなっている。改善状況は県北と県央が大きくなっている。人吉球磨地域での水害後の短期的な復興特需が落ち着いたこともあり、県南は改善が小幅に留まっている。

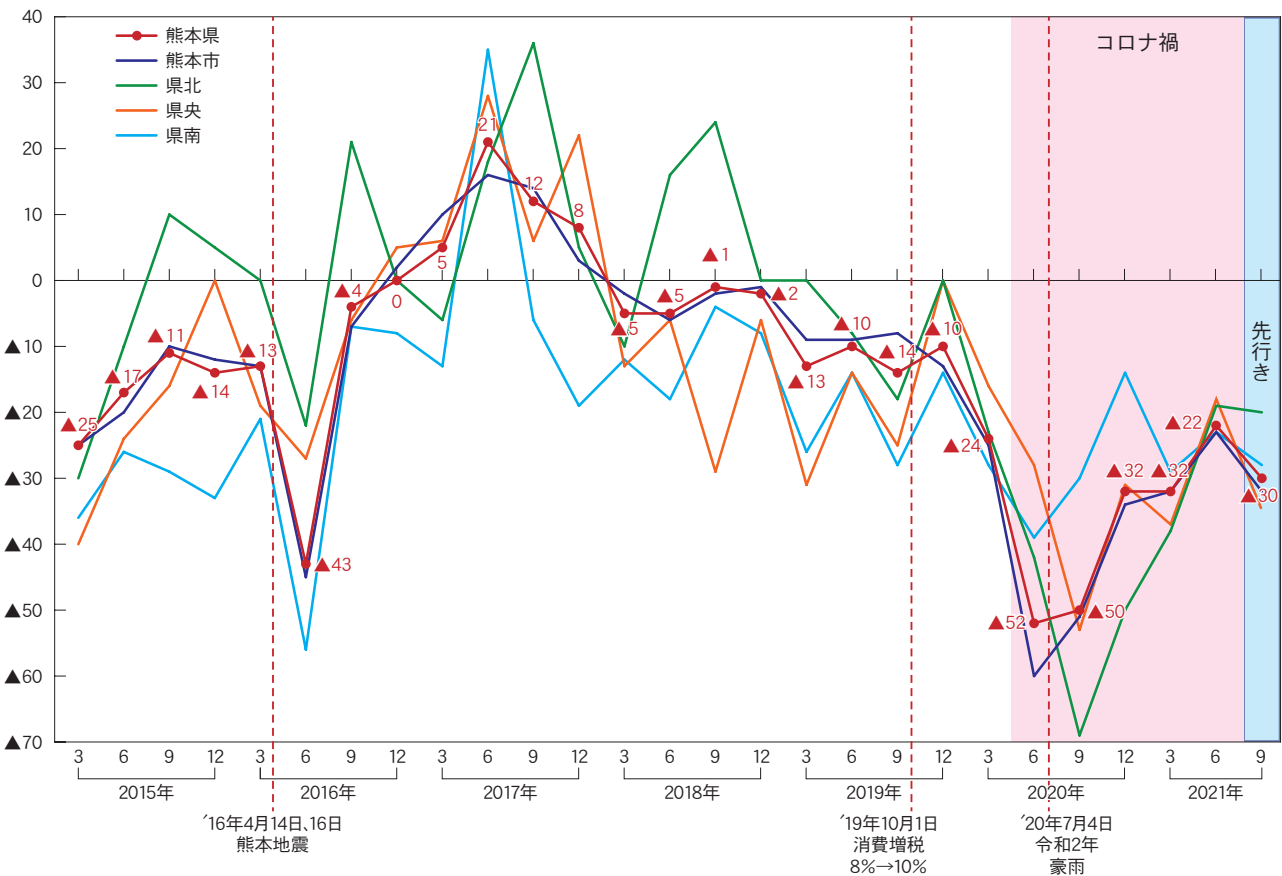
先行きは再び悪化し、特に熊本市で9p悪化の▲32、県央で17p悪化の▲35を見込む（図表3、4）。

図表3 規模別・地域別業況DI

規模	前回実績 2021年 1～3月期		今回実績 2021年 4～6月期		先行き 2021年 7～9月期	
	前回実績	今回実績	前回実績	今回実績	前回実績	今回実績
9人以下 17社	▲ 47	▲ 18	▲ 47	▲ 18	▲ 24	▲ 24
10～19人 39社	▲ 38	▲ 33	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 41
20～29人 24社	▲ 42	▲ 25	▲ 42	▲ 25	▲ 29	▲ 29
30～49人 39社	▲ 32	▲ 13	▲ 32	▲ 13	▲ 21	▲ 21
50～299人 94社	▲ 23	▲ 23	▲ 23	▲ 23	▲ 34	▲ 34
300人以上 21社	▲ 23	▲ 14	▲ 23	▲ 14	▲ 19	▲ 19

地域	前回実績 2021年 1～3月期		今回実績 2021年 4～6月期		先行き 2021年 7～9月期	
	前回実績	今回実績	前回実績	今回実績	前回実績	今回実績
熊本市 148社	▲ 31	▲ 23	▲ 31	▲ 23	▲ 32	▲ 32
県北 30社	▲ 38	▲ 19	▲ 38	▲ 19	▲ 20	▲ 20
県央 17社	▲ 37	▲ 18	▲ 37	▲ 18	▲ 35	▲ 35
県南 39社	▲ 29	▲ 23	▲ 29	▲ 23	▲ 28	▲ 28

図表4 地域別業況DIの推移（2015年3月調査～）



2 調査項目ごとの状況

(1) 売上・利益 ～売上DI、利益DIともに改善するもマイナス水準続く～

- 売上DIは全産業で17p改善の▲19、製造業で21p改善の▲11、非製造業で16p改善の▲22だった。先行きは全産業で6p悪化の▲25、製造業で4p改善の▲7、非製造業で10p悪化の▲32の見通し(図表5)。
- 利益DIは全産業で16p改善の▲23、製造業で26p改善の▲12、非製造業で12p改善の▲27だった。先行きは全産業で9p悪化の▲32、製造業で4p改善の▲8、非製造業で13p悪化の▲40の見通し(図表5)。

自由回答より(抜粋)

【売上・利益】売上は対前年比キープしている。人件費削減により営業利益が増加。しかしながら営業活動においては軒並み厳しい状況が続くことが予想されます。(食料品製造業)

図表5 売上DI・利益DI

売上DI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比	利益DI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期			2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期	
全産業DI	▲36	▲19	↗	▲25	↘	全産業DI	▲39	▲23	↗	▲32	↘
製造業	▲32	▲11	↗	▲7	↗	製造業	▲38	▲12	↗	▲8	↗
非製造業	▲38	▲22	↗	▲32	↘	非製造業	▲39	▲27	↗	▲40	↘

(2) 仕入価格・販売価格 ～仕入価格DI、販売価格DIともに上昇～

- ① 仕入価格DIは全産業で11p上昇の+20、製造業で12p上昇の+28、非製造業で11p上昇の+17だった。先行きは全産業で2p低下の+18、製造業で4p上昇の+32、非製造業で3p低下の+14の見通し。生産財卸売業で27p上昇の+43、建設業で25p上昇の+38と高くなっている(図表6、資料編(3))。
- ② 販売価格DIは全産業で8p上昇の▲2、製造業では2p上昇の▲2、非製造業が10p上昇の▲2だった。先行きは全産業で1p低下の▲3、製造業で2p上昇の±0、非製造業で1p低下の▲3の見通し。生産財卸売業で29p上昇の+24と、他の業種より水準が高くなっている(図表6、資料編(3))。

自由回答より(抜粋)

【仕入価格】建設業もジワリとコロナ禍の影響が出てきて、請負価格は低いし材料は10～15%値上がりして利益率を低下させている。(板金工事業)

【販売価格】売価は特別悪くないが、総売上が伸びない。(給水設備卸売業)

図表6 仕入価格DI・販売価格DI

仕入価格DI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比	販売価格DI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期			2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期	
全産業DI	9	20	↗	18	↘	全産業DI	▲10	▲2	↗	▲3	↘
製造業	16	28	↗	32	↗	製造業	▲4	▲2	↗	0	↗
非製造業	6	17	↗	14	↘	非製造業	▲12	▲2	↗	▲3	↘

(3)設備・労働力 ～設備DIは低下し、労働力DIは低い水準（不足）続く～

- 設備DIは全産業で4p低下の▲14、製造業で3p低下の▲11、非製造業で4p低下の▲15だった。先行きは全産業で1p上昇の▲13、製造業が4p上昇の▲7、非製造業で横ばいの▲15の見通し。個人サービス業で25p低下の▲35と低く（不足）、そのうちホテル・旅館業では回答のあった全社が不足と回答するなど、コロナ禍で業況が厳しい中でも設備投資を必要とする状況がうかがえる（図表7、資料編（4））。
- 労働力DIは全産業で5p上昇の▲28、製造業では2p上昇の▲22、非製造業で6p上昇の▲30だった。先行きは全産業で1p低下の▲29、製造業で横ばいの▲22、非製造業で1p低下の▲31の見通し。業種により差がみられ、特に運輸業で19p低下の▲83と、ひっ迫が際立つ（図表7、資料編（4））。

自由回答より（抜粋）

【設備】コロナ禍での接客には、換気設備、Wi-Fi、料理の保管設備等が欠かせない。（ホテル業）

図表7 設備DI・労働力DI

設備DI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比	労働力DI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期			2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期	
全産業DI	▲10	▲14	↓	▲13	↑	全産業DI	▲33	▲28	↑	▲29	↓
製造業	▲8	▲11	↓	▲7	↑	製造業	▲24	▲22	↑	▲22	→
非製造業	▲11	▲15	↓	▲15	→	非製造業	▲36	▲30	↑	▲31	↓

(4)在庫・資金繰り ～在庫DIは適正に近い水準、資金繰りDIは横ばい～

- 在庫DIは全産業で8p低下の▲2、製造業で8p低下の▲3、非製造業で7p低下の±0だった。先行きは全産業で2p上昇の±0、製造業で8p上昇の+5、非製造業が5p低下の▲5の見通し。食料品製造業と消費財卸売業でプラス（余剰）推移。一部製造業の業況改善もあり、食料品以外の製造業の在庫水準がマイナス（不足）となり、製造業全体でもマイナスとなった。全産業では適正水準に近い▲2となっている（図表8、資料編（5））。
- 資金繰りDIは全産業で2p改善の+8、製造業で6p悪化の+5、非製造業で5p改善の+9だった。先行きは全産業で7p悪化の+1、製造業で2p悪化の+3、非製造業では8p悪化の+1の見通し。全産業DIは概ね横ばいで推移しているが、先行きは低下している（図表8）。

図表8 在庫DI・資金繰りDI

在庫DI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比	資金繰りDI	前回実績	今回実績	前回比	先行き	今回実績比
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期			2021年 1～3月期	2021年 4～6月期		2021年 7～9月期	
全産業DI	6	▲2	↓	0	↑	全産業DI	6	8	↑	1	↓
製造業	5	▲3	↓	5	↑	製造業	11	5	↓	3	↓
非製造業	7	0	↓	▲5	↓	非製造業	4	9	↑	1	↓

3 新型コロナウイルス感染症の影響（継続調査）

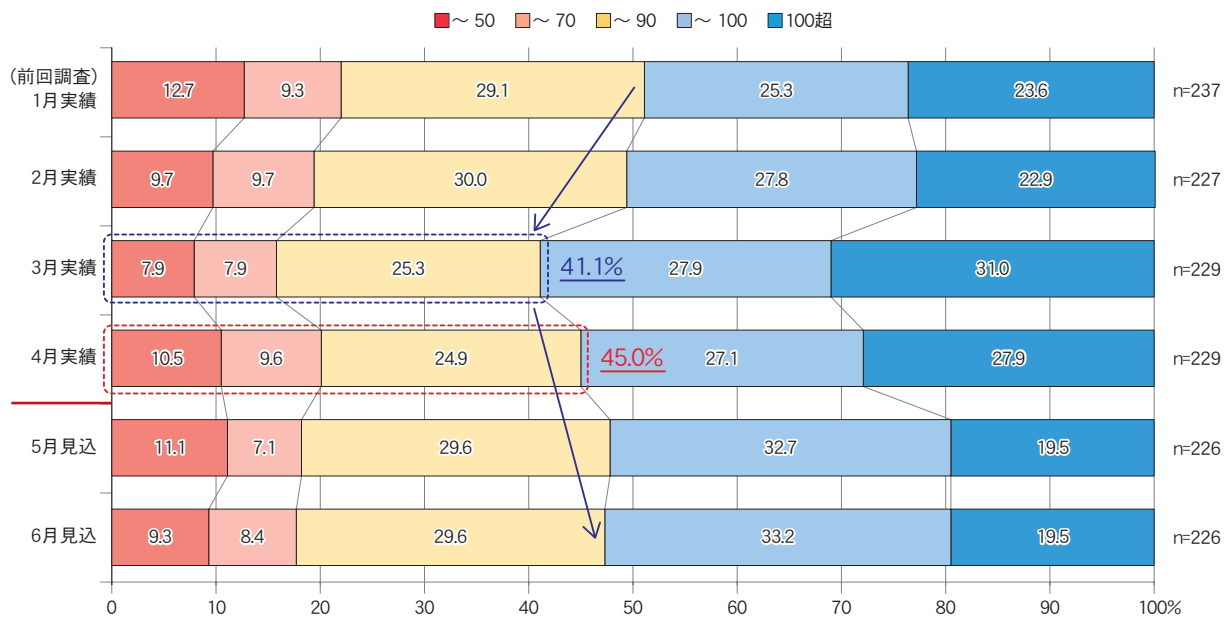
新型コロナウイルス感染症の影響について、売上の実績と見込みを継続調査している。

2020年12月にコロナ第三波の到来が本格化した、年度末にかけやや沈静化に向かい、3月の売上で見るとコロナ前の2019年同月比90%以下の割合は41.1%となった。しかし第四波が到来したこともあり、90%以下の割合は再び増加に転じ、4月の売上が90%以下の事業者は45.0%となった。

熊本県内のまん延防止措置発令もあり、5月以降はさらに悪化が見込まれている。

自由回答からは、コロナ禍の長期化による事業環境の厳しさや、新商品開発や新規事業で対応を進めていることなどのコメントがみられる（図表9、自由回答）。

図表9 【全業種】熊本県内事業者 1月～6月売上実績・見込み推移（2019年同月売上を「100」とする）



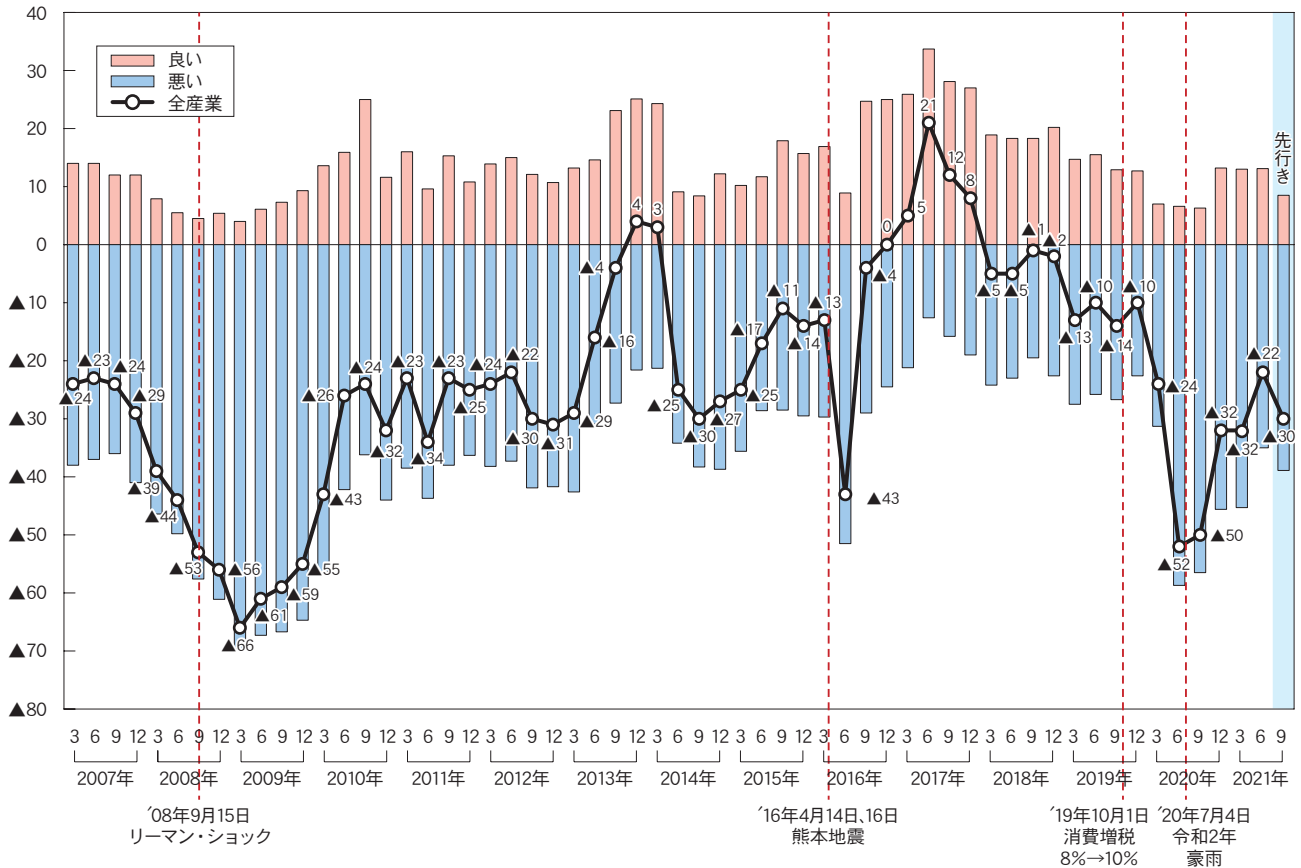
【自由回答②】 コロナ禍に関するコメント

事象	業種	売上DI	内容
売上への影響	医療業	➡	先行きは不透明であり、大きな変化もあり得ますが、現状のマイナス要素はプラスと相殺程度。
	タクシー業	👇	厳しい現状が続いています。
	広告業	👇	広告業につきコロナの影響受けやすい。第四波の収束が見えないと厳しい。
需要の変化	酒類卸売業	👇	コロナで地元売上DOWNするも、関東方面への通販事業30%UP。
	調剤薬局	👇	コロナの影響もあり受診率が下がっているため。
コロナ禍への適応	飼料製造業	👇	コロナ禍で新規事業を本格化したことが良かった。
	食料品製造業	➡	昨年度の反省を踏まえ販売先の見直しを行っており、新商品の開発・製造・販売も少しずつ増加してきております。

なお、各調査項目の業種別DIについては【資料編】（14～15ページ）に掲載しております。

【 第119回熊本県内企業業況判断調査 資料編 】

(1) 全産業の業況DIの長期推移 (2007年3月調査～)



(2) 売上DI・利益DI

	売上DI					利益DI				
	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	▲ 36	▲ 19	↗	▲ 25	↘	▲ 39	▲ 23	↗	▲ 32	↘
製造業	▲ 32	▲ 11	↗	▲ 7	↗	▲ 38	▲ 12	↗	▲ 8	↗
食料品製造業	▲ 55	▲ 53	↗	▲ 29	↗	▲ 55	▲ 41	↗	▲ 29	↗
食料品以外の製造業	▲ 24	5	↗	2	↘	▲ 29	0	↗	0	→
非製造業	▲ 38	▲ 22	↗	▲ 32	↘	▲ 39	▲ 27	↗	▲ 40	↘
建設業	▲ 42	▲ 19	↗	▲ 25	↘	▲ 45	▲ 28	↗	▲ 38	↘
生産財卸売業	▲ 58	▲ 5	↗	▲ 24	↘	▲ 42	10	↗	▲ 29	↘
消費財卸売業	▲ 40	23	↗	▲ 15	↘	▲ 40	15	↗	▲ 46	↘
小売業	▲ 15	▲ 26	↘	▲ 35	↘	▲ 9	▲ 19	↘	▲ 35	↘
運輸業	▲ 64	▲ 50	↗	▲ 58	↘	▲ 79	▲ 67	↗	▲ 67	→
事業所サービス業	▲ 27	▲ 19	↗	▲ 20	↘	▲ 37	▲ 30	↗	▲ 27	↗
個人サービス業	▲ 59	▲ 54	↗	▲ 58	↘	▲ 57	▲ 63	↘	▲ 63	→

(3)仕入価格DI・販売価格DI

	仕入価格DI					販売価格DI				
	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	9	20	↗	18	↘	▲10	▲2	↗	▲3	↘
製造業	16	28	↗	32	↗	▲4	▲2	↗	0	↗
食料品製造業	0	29	↗	24	↘	▲10	6	↗	6	→
食料品以外の製造業	22	27	↗	35	↗	0	▲5	↘	▲2	↗
非製造業	6	17	↗	14	↘	▲12	▲2	↗	▲3	↘
建設業	13	38	↗	41	↗	▲16	6	↗	6	→
生産財卸売業	16	43	↗	43	→	▲5	24	↗	19	↘
消費財卸売業	▲7	15	↗	▲8	↘	▲27	8	↗	▲31	↘
小売業	▲3	10	↗	3	↘	▲6	▲10	↘	▲10	→
運輸業	38	8	↘	8	→	▲9	▲9	→	▲9	→
事業所サービス業	2	5	↗	3	↘	▲5	▲7	↘	▲2	↗
個人サービス業	0	4	↗	0	↘	▲33	▲17	↗	▲13	↗

(4)設備DI・労働力DI

	設備DI					労働力DI				
	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	▲10	▲14	↘	▲13	↗	▲33	▲28	↗	▲29	↘
製造業	▲8	▲11	↘	▲7	↗	▲24	▲22	↗	▲22	→
食料品製造業	▲10	▲6	↗	0	↗	▲10	0	↗	▲6	↘
食料品以外の製造業	▲6	▲14	↘	▲10	↗	▲31	▲30	↗	▲28	↗
非製造業	▲11	▲15	↘	▲15	→	▲36	▲30	↗	▲31	↘
建設業	▲6	▲16	↘	▲19	↘	▲58	▲44	↗	▲38	↗
生産財卸売業	▲16	▲19	↘	▲14	↗	▲21	▲29	↘	▲33	↘
消費財卸売業	▲13	▲8	↗	▲8	→	▲20	▲15	↗	▲15	→
小売業	▲9	▲13	↘	▲17	↘	▲21	▲26	↘	▲29	↘
運輸業	0	▲17	↘	▲17	→	▲64	▲83	↘	▲83	→
事業所サービス業	▲13	▲5	↗	▲10	↘	▲54	▲21	↗	▲25	↘
個人サービス業	▲10	▲35	↘	▲22	↗	▲5	▲17	↘	▲17	→

(5)在庫DI・資金繰りDI

	在庫DI					資金繰りDI				
	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比	2021年 1～3月期 (前回調査)	2021年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2021年 7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	6	▲2	↘	0	↗	6	8	↗	1	↘
製造業	5	▲3	↘	5	↗	11	5	↘	3	↘
食料品製造業	10	18	↗	24	↗	0	▲12	↘	▲12	→
食料品以外の製造業	2	▲11	↘	▲2	↗	16	11	↘	9	↘
非製造業	7	0	↘	▲5	↘	4	9	↗	1	↘
建設業	—	—	—	—	—	13	19	↗	13	↘
生産財卸売業	16	▲5	↘	▲10	↘	0	5	↗	0	↘
消費財卸売業	7	15	↗	0	↘	13	23	↗	8	↘
小売業	3	▲3	↘	▲3	→	18	13	↘	13	→
運輸業	—	—	—	—	—	▲23	▲9	↗	▲36	↘
事業所サービス業	—	—	—	—	—	8	7	↘	2	↘
個人サービス業	—	—	—	—	—	▲32	▲4	↗	▲21	↘

※在庫DIの“—”は該当なしの業種